## 種子島の門木（かどぎ）（=門松）

# 上西だより

～上西校区集落支援員だより～

西之表市地域支援課
上西集落支援員
馬場 信一　編集
連絡先090－9579－3953
上西校区長責任発行

## あけまして おめでとうございます

今年も「上西だより」をご愛読のほど、よろしくお願いいたします。

右のQRコードで餅つき大会・しめ縄作りを動画でどうぞ。

餅つき大会

しめ縄

今年の正月も好天に恵まれ、伊勢神社には４千人もの方が参拝に訪れました。正月に年神様を迎える目印になるのがしめ縄や松飾りです。種子島の松飾りは幕藩体制のなかで徳川家代々に伝わる三本の竹を斜めに削ぐ形（下左）ではなく、下の写真のような門木が一般的です。

伊勢神社殿の門木

芯になる木は松・マテバシイ・竹の三本。マテバシイを約30ｃｍの長さに切り、細く縦に割ったもので添木として巻き、上中下三か所を根元を藁で縛る。添木となるマテバシイの皮は剝（は）ぎ、白木を表に見せる。白木は清浄の意味を表す。

次に、代々平氏の流れをくむ長野家で横山の長野道雄さん宅の門木を紹介します。道雄さんの家には平氏の家系図が大事に保管されています。

マテバシイを３ｍもの高さにまで上げるのは、しめ縄をくくり付けるため。ここを年神様や客人が往来する。

長野道雄さん宅の門木としめ縄

芯になるのは松と高さが３ｍもあるマテバシイとクヌギの３本。添木はマテバシイの割り木を裏返して３か所で縛る。左側も同様。形態は家々によって異なる。

松は一年中、緑が生き生きしています。竹はしなやかで枯れることはありません。マテバシイを火にくべるとパチパチという音がします。この音で邪気を追い払うといわれています。門木には縁起の良い植物を選んでいるのです。